

2021年5月12日

## 横浜ゴム・「YOKOHAMA まごころ基金」が国際支援に取り組む 「チャイルド・ファンド・ジャパン」を継続支援

横浜ゴム（株）の従業員による社会貢献基金「YOKOHAMA まごころ基金」は2021年3月、手紙を通じて交流しながら子どもの成長を見守る「スポンサーシップ・プログラム」などを行う特定非営利活動法人「チャイルド・ファンド・ジャパン」へ活動支援金を寄付しました。横浜ゴムはマッチングギフト<sup>※</sup>として支援金と同額を寄付し、支援合計金額は38万4000円となります。同団体への支援は2017年より5年連続となります。

「YOKOHAMA まごころ基金」は、寄付を希望する従業員が会員となり給与から毎月1口100円を天引きし積み立て、集まった資金を環境保全や人権擁護などに取り組むNPO、NGOなどへの資金援助や重大な災害への義援金として拠出することを目的に2016年5月に設立されました。横浜ゴムはマッチングギフトとして同基金支援額と同額を寄付する仕組みとなっています。

「チャイルド・ファンド・ジャパン」（理事長：長山信夫氏）は1975年に設立。アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長と家族、地域の自立を支援しています。横浜ゴムは寄付のほかに、2017年から本社、平塚製造所、三重工場、三島工場がフィリピンの貧困地域の子ども各1名との手紙の交換を行いながら顔の見える就学支援を行っています。今回から新たに新城工場、尾道工場、茨城工場、長野工場でも各1名ずつ支援を開始いたしました。

横浜ゴムでは、今年2月に新中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン）を策定しました。ESG経営においては「未来への思いやり」をスローガンとして掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を進めていきます。

※従業員などが社会貢献を目的とした寄付や義援金を拠出した際に、企業がその寄付金に一定額、または同額を上乗せして寄付金を拠出する仕組み



このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570